

McAfee Device Security

ビジネスに復元力を持たせるには、高い位置から防御を考えることが必要です。高い位置から全体像を見て管理できていますか？

セキュリティソリューションが断片的なために、運用環境がパッチワークのようにつぎはぎになっています。これらの防御機能は互いに連携しておらず、また効果を最大限に引き出すための集中管理もされていません。これはつまり、可視性、理解、コントロールの集中化がされていないということを意味します。多くの組織では、既に持っている防御技術の機能さえ十分に活用できていません。

実際 55%の組織では、3つ以上のコンソールがある場合データの合理化に苦労しています。

出典: 2018年1月 MSA リサーチ (セキュリティ管理についてMcAfeeが依頼した調査)

主な特徴

- 単一のコンソールを使ってすべての種類のデバイスを保護します。バラバラな技術の寄せ集めではありません。
- ターゲットを絞った有害なマルウェアに加えて、ファイルレス、ゼロデイ、ランサムウェアなどの最新の脅威と戦います。
- デバイスに内蔵されている既存のセキュリティを活用及び拡張します。複数のコンソールは使いません。
- SaaS、仮想、オンサイトなど、配備・管理環境が選択できます。
- アプローチをシンプルに、そして防御は堅固にします。

McAfeeへアクセス



ソリューションの概要

McAfee® Device Security は、McAfee、サードパーティ、そしてOSネイティブの対応策を単一管理コンソールで包括して、革新を進める攻撃者に対する最大の防御を以下のようなソリューションで提供します。

- **シンプル:** 真のシンプルさには、様々な技術セットが存在しても単一かつ調和したインターフェースがあること、そしてソフトウェア アズ ア サービス (SaaS)、仮想、またはオンプレミスの管理モデルから選択できることが必要です。
- **包含:** デバイス ネイティブ、サードパーティ、及びMcAfeeの対応策を単一コンソールで集中管理できるので、(防御策の寄せ集めではなく) 最高の集約的防御を実現できます。
- **包括的:** 従来の OS ベースのエンドポイントだけでなく、ラップトップ、サーバー、コンテナ、モバイル、そして組込み IoT デバイスなどを含むデジタル領域全体を保護します。

単一コンソールで管理

SaaS、仮想、またはオンプレミスの管理オプションと、単一の直感的コンソールによって、管理をシンプル化でき、また柔軟性も高くなります。オンサイトコンポーネントがないため労力がかからず使いやすいSaaS、柔軟性の高い仮想配備、そして100%のコントロールができるオンサイト管理モデルまで、McAfeeは様々なオプションを提供しています。

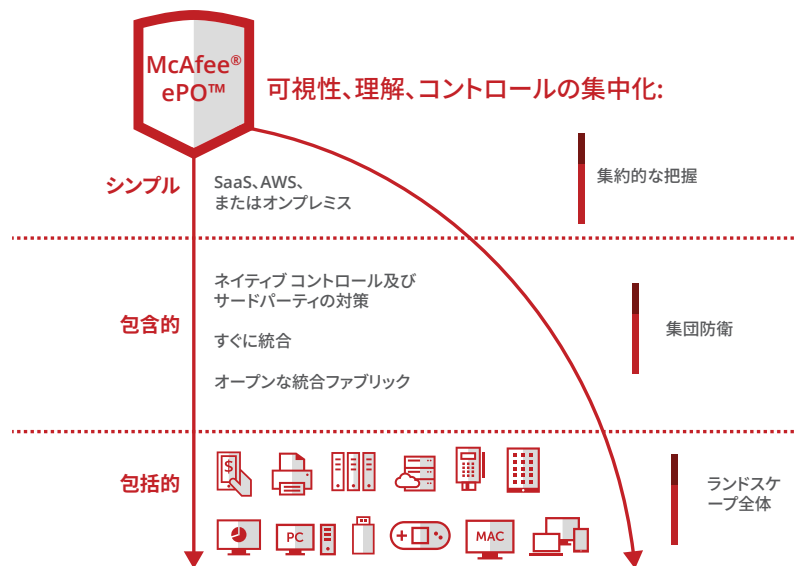


図1 McAfee Device Security は、シンプルで包含的かつ包括的なアプローチでデジタル領域を保護。



図2 SaaS、仮想、及びオンサイト管理オプションを提供する柔軟性。

ソリューションの概要

無駄な重複がなく、すべてを活用

最新の Microsoft Windows OS に内蔵されているセキュリティを活用し、それをさらに強化して、真のエンタープライズクラスの防御を提供します。これには追加のセキュリティ コンソールは必要ありません。管理対象を減らし、また幅広い集合的防御ができるようになります。

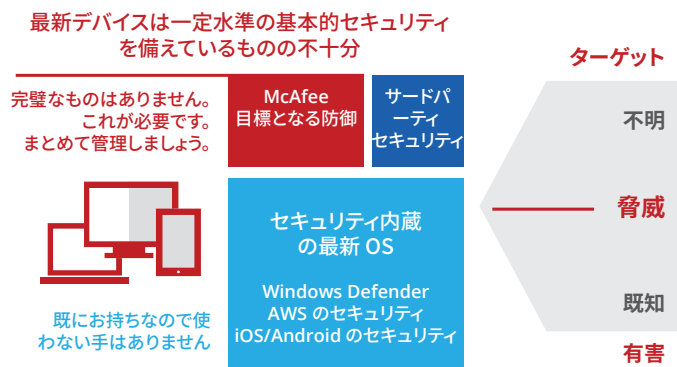


図 3 Microsoft Windows 10 に内蔵の基本的セキュリティを活用、強化、管理。

単一のソリューションですべての種類のデバイスに対応

組織は従来型の OS ベースのエンドポイント以外にも、多くのエンドポイントを利用しています。すべてのエンドポイント、サーバー、仮想インスタンス、コンテナ、組込み IoT デバイス、そしてモバイル デバイスのすべてに対して可視性、理解、コントロールの集中化が必要で、そしてこれらすべてをまったく個別のものとしてではなく「他のデバイスと同じように」管理することが必要です。

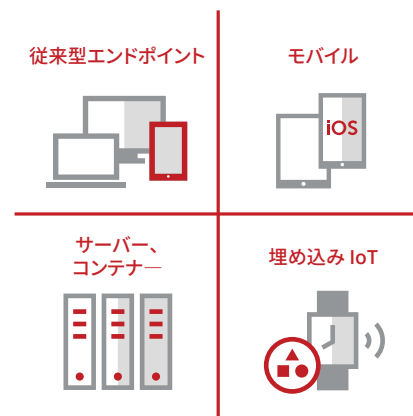


図 4 単一コンソールからすべての種類のデバイスを管理。

ソリューションの概要

多様な脅威に対する幅広い防御

McAfeeは、ファイルレス、ゼロデイ、そしてマルウェアベースの攻撃と戦うために、脅威防御のライフサイクル全体をカバーする様々な統合的対抗策を提供します。一般的なデバイスの堅牢化やウイルス予防策から、先進的な行動分析、認証情報盗難防止、そしてエンドポイントでの検出と対応(EDR)まで、単一のソリューションで集合的な防御をすることができます。「回転椅子」に座って管理しなければならないようなバラバラなソリューションで疲弊することはありません。

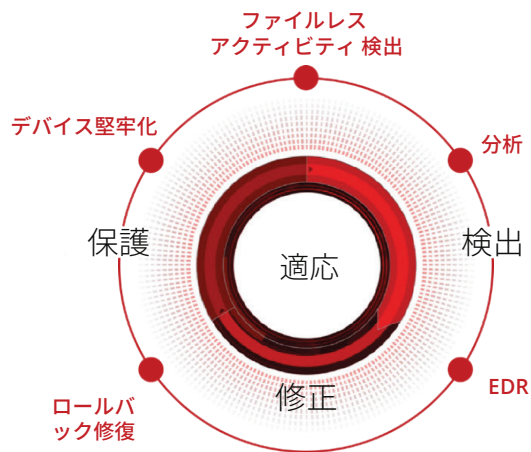


図 5 防御のライフサイクル全体にわたった統合的対抗策。

サードパーティによるテスト及び証明済み

McAfeeの防御エンジンの最新版は業界最高水準です。AV-TESTはMcAfeeに1年以上連続して最高ランクの防御スコアをつけています。



図 6 誤検出が少なく、高度な保護ができることをサードパーティのテストが実証。

MVISION

Multi Vendor

InSights & Intelligence

Open eNvironments

新しい戦略的ミッション、新しいポートフォリオファミリー

McAfee® MVISION は新しい戦略的ミッション及びポートフォリオファミリー オファリングです。デジタル環境全体にわたった可視性、理解、コントロールの集中化ができます。McAfee Device Security は、McAfee MVISION の新技術を使ってクラウドベースの管理をシンプルにし、Windows 内蔵のセキュリティを活用及び拡張します。また、モバイル デバイスもカバーします。**McAfee Device Security** が単一かつ高度化した管理を通して提供するこれらのエキサイティングな新技術とその他の機能の詳細をぜひご覧ください。

■ **McAfee MVISION ePolicy Orchestrator (McAfee MVISION ePO):** 非常にシンプルなクラウドベースの管理アプローチを提供する McAfee MVISION ePO は、複数テナントに対応した、グローバルなエンタープライズ SaaS オファリングです。バックエンドのインフラストラクチャの配備やメンテナンスの諸経費はまったく必要ありません。

■ **McAfee® MVISION Endpoint:** ネイティブOSのセキュリティ機能を管理し、McAfeeの分析及び機械学習による防御で最新の脅威も確実に検出します。管理インターフェースは一つです。

■ **McAfee® MVISION Mobile:** モバイル デバイスを「他のデバイスと同じように」保護し、集中管理します。インストールされた不正なアプリやその他のモバイルの脅威イベントを検出して修正します (Android と iOS に対応)。

■ **McAfee® Endpoint Security:** 最新及びレガシーの Windows、Linux、及び Mac 向けのフルスタック エンドポイント プロテクション プラットフォーム (EPP) です。単一のエージェントと集中化した管理コンソールを使って、高度な保護策と EDR を統合します。

■ **McAfee® Embedded Control:** 商業用及び工業用 IoT デバイス向けに、ターゲットを絞ったマルウェア、未承認のソフトウェア変更、そして設定の改ざんに対抗する高度な機能を提供します。

■ **McAfee® Cloud Workload Security:** エラスティックなワークロードとドッカー コンテナを迅速に検知して保護します。



〒150-0043
東京都渋谷区道玄坂1-12-1
渋谷マークシティウエスト20F
www.mcafee.com/jp

McAfee、McAfeeのロゴ、ePolicy Orchestrator、McAfee ePOは、米国法人McAfee LLCまたは米国またはその他の国の関係会社における登録商標または商標です。その他すべての登録商標および商標はそれぞれの所有者に帰属します。Copyright © 2018 McAfee, LLC. 4079_0718
2018年7月